

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【176】

2. 日時：令和4年5月18日 14時00分～15時30分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、千明主任安全審査官、三浦主任安全審査官、服部（正）主任安全審査官、植木主任安全審査官、藤川安全審査官、谷口技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

小林技術研究調査官、森谷技術研究調査官、飯場技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 部長（電源建築） 他16名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力土建部 設計管理グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力技術部 原子力建築室 担当※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

・なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:06	規制庁のハツリです。
0:00:08	ただいまから、島根 2 号機、設工認についてヒアリングを開始いたします。
0:00:13	本日の議題は、建物の地震応答解析モデルと、
0:00:18	基礎底面の付着力についてになります。よろしいでしょうか。どうぞ。
0:00:24	中国電力の落合です。本日の議題それで問題ございません。以上です。
0:00:29	規制庁の服部です。
0:00:31	それでは本日もう、いつもと同様で
0:00:36	回答整理表に対して、1 問 1 等で説明があつて、そのあと新規で説明するところがあれば、中国電力側から説明をいただいて、
0:00:46	そのあと全体的に規制庁側から確認をするという流れでよろしいでしょうかどうぞ。
0:00:54	中国電力の落合ですその認識で問題ございません。説明については回答整理表を用いて 1 件ずつ説明させていただきます。で、少し順番についてですけども、
0:01:04	まずは、前回、4 月 22 日にご指摘いただいた点について、1 件ずつ回答させていただきたいと思っておりますので、
0:01:14	そのあとで、ちょっと前回ヒアリングの時にはですね、審査会合、12 月 7 日の審査会合での指摘事項に対する回答整理についての準備が整っていませんでしたので、今回それについても準備しておりますので、
0:01:27	それについて、後で説明させていただければというふうに考えております。以上です。
0:01:35	規制庁の服部ですはい、わかりました。
0:01:38	それではまず資料の確認をお願いしますどうぞ。
0:01:43	中国電力の落合です。資料は全部で 6 種類ございます。まず、5 月 10 提出日が 5 月 12 日のものが 2 種類ございまして、これについては資料番号が N-S2 の他の、
0:01:56	109 回 1、指摘事項に対する回答整理表、それから二つ目が、資料番号 N-S2 の方の 023 の 10 階 0 に、建物の地震をどう解析モデルについて、括弧次長等解析における建物基礎底面の付着力、
0:02:11	本日の説明に使いますのは、この 5 月 12 日に提出させていただいたこの 2 冊になります。で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:19	これ以外に、前回とかも同様ですけども、4冊ございまして、の説明には 用いせんけど、さ、簡単にご紹介します。提出日は2月3日になりま して、地震応答解析に関する購入の添付書類になります。
0:02:34	と資料番号がN-SにNo. 2-002-05、制御建物事象等計算書、あと 同じですけども、廃棄物処理建物の事象と計算書、あと1号機原子炉 建物の耐震性についての計算書、あと1号機、
0:02:48	廃棄物処理建物の耐震性についての計算書、資料は以上になります。 よろしいでしょうか。以上です。
0:02:56	規制庁の服部です。はい。資料の確認ができました。それでは説明を 始めてください。どうぞ。
0:03:06	中国電力の島です。では説明の方を始めさせていただきます。
0:03:11	資料は、N-S2ほか109回01の回答整理表をお願いします。
0:03:20	あと5ページになります。
0:03:22	こちらのヒアリング
0:03:24	の回答整理表になります。
0:03:26	13、ナンバー13から説明の方始めていきます。
0:03:31	まず、No.13のコメント内容ですけども、
0:03:35	企業文献の入力倍率が1.0までしかないことを踏まえ、廃棄物処理建 物における入力倍率が1.0を超える範囲の
0:03:45	検討の扱いがわかるように説明することというものです。
0:03:50	回答につきましてはその右の欄の回答のところをご覧ください。
0:03:56	廃棄物処理建物の解析結果のうち、接地率が概ね30%を下回る範 囲。
0:04:03	入力倍率1.1から1.3については、参考として解析を実施していること を記載しております。
0:04:10	具体的には、
0:04:11	N-Sに報-02310回02の補足説明資料の方をお願いします。
0:04:23	通しページでいくと、14ページになります。
0:04:29	こちらは、
0:04:32	別紙1として、
0:04:37	集約力へのを用いた3次元FEMモデルの35%の適用性を示した資料 になります。
0:04:46	14ページの一番下のなお書き以降をご覧くださいと、
0:04:50	積率が概ね30%を下回る範囲、入力倍率1.1から1.3については、参 考として解析を実施したという旨を追加しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:01	以上がNo.13 に対する回答になります。
0:05:05	規制庁の服部です。それではただいまの説明に対して確認する点があればお願いしますどうぞ。
0:05:12	はい。規制庁吉良です。こちらの回答で結構です。次お願いします。
0:05:20	はい。中国電力の羽田です。
0:05:22	では続きましてナンバー14 に移ります。
0:05:26	コメント内容ですけども、
0:05:28	入力倍率の増大により、誘発上下動に伴う最大鉛直応答加速度の
0:05:34	増加度合いが大きくなることについて、考察を加えて説明することというコメントをいただいております。
0:05:41	回答につきましては、補足説明資料の方をお願いします。
0:05:47	通しの 16 ページになります。
0:05:53	接地率による水平応答それから、誘発上下動への影響について考察を追記しております。
0:06:01	具体的には、下から二つ目のパラグラフの黄色ハッチング部分になります。
0:06:07	水平応答は、入力倍率に応じて直線的に変化し、愛知率が水平応答に与える影響は小さいこと。
0:06:14	そして、
0:06:16	鉛直応答につきましては接地率が小さくなると、一層キアガリによる誘発上下動に伴う応答が急激に増大する。
0:06:24	というふうにお記載、
0:06:26	考察として記載しました。
0:06:29	以上がコメントNo. 14 に対する回答になります。
0:06:34	規制庁の服部です。
0:06:36	それではただいまの説明に対して確認する点がある方お願いしますどうぞ。
0:06:43	規制庁の藤川です。
0:06:47	今回追記いただいた部分、
0:06:49	特に誘発上下動に伴う最大鉛直と加速度の増加傾向についてちょっと理解を深めるために、
0:06:56	1 点事実確認させてください。
0:07:00	ジャグ内指示薬ではですね誘発上下動を考慮できるキャリー線形応答解析を行う接地率のクライテリアとして、65%っていうのが示されてると思うんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:13	それをちょっと念頭に入れて今回の検討結果拝見したんですが、この17ページを見てもらえますか。
0:07:21	17ページですね、左上の図、図3-2の(エ)を見ますと、
0:07:29	付着力なし、マクロのグラフですね。
0:07:32	これ見ると、最小接地率65%のところを見ますと、
0:07:38	大体、入力地震動は約550Galぐらいかなと思います。
0:07:44	次に、左下図ですね図3-4(エ)の、
0:07:49	グラフを見ますとこちらの、
0:07:51	黒いグラフ、付着力なしの方見ますと、
0:07:56	大体26地震の550ガルぐらいのところから、
0:08:02	誘発上下動がですね。
0:08:05	ちょっと
0:08:07	本リニアといいますか二次監査的といいますか、水平応答のなだらかなリニアな。
0:08:14	大戸風乃皮膚科と比較してちょっと出てきているのかなと。
0:08:19	思ったんですけども。
0:08:21	こういったその増加傾向ですね。
0:08:24	またその資料の16ページ戻っていただいて、
0:08:28	今回その黄色ハッチで追加いただいた最大鉛直応答加速度が急激に増大する傾向にある。
0:08:35	というふうに今記載いただいていると思っているんですけども、
0:08:41	その何か、
0:08:43	ここを見ますとやっぱその弱の65%という数字とも整合したような、
0:08:49	3次元FEMの
0:08:50	解析結果になってるのかなと思っているんですが、
0:08:53	この理解についてちょっと正しいかどうか、教えてもらってもよろしいでしょうか。
0:09:12	中国電力の落合です。先ほどのご理解で概ね問題ないかと思っておりますけども、少し補足的に説明させていただきますと、まず薬の評価フロー。
0:09:24	ですね誘発上下動の扱い上で接地率20日については、まず65%以上であれば、油圧上下動の影響が小さいということで、考慮する必要はないと、いうふうな整理になっております。それが、
0:09:38	先ほどの当社の廃棄物処理建物を例にした、この試解析によりますと、65%ですと大体先ほどおっしゃった、550ガルぐらいになりますんでその、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:50	油圧条件とっても数字で見ればグラフ上の
0:09:53	ほぼ0とは言いませんけど、ほとんどないような状態になっているというところに対応していると考えてます。それからもう一つが、誘発上下動を考慮した、
0:10:03	SRモデルの適用範囲というのが今度50%から65%ということで、今度50%のところを見ますと大体、
0:10:14	当社の等の解析モデルで言いますと600から700万、600ちょっとぐらいのところですね。それを、一番下の3-4図で見ますと、大体加速度でいうと650なので、
0:10:26	先ほどの65%に比べれば、随分や状況がちょっと大きくなっているということかと思えます。で、さらにこの50%を下回る領域になりますと、
0:10:38	先ほどの50%とか65%までの増加傾向に加え、
0:10:43	比べれば、より勾配がきつくなって油圧上下動が大きくなっていると、というような見方をしておりますんで、それらをですね踏まえて、
0:10:53	16ページの方にですね考察として、そこは少し自立が定性一律になると、急激に用事油圧ジョエイの鉛直のやつ上下動が、
0:11:04	大きくなると。これの発生原因としては、基礎浮き上がりが発生することによる油圧上下動だと考えているということで、こういった形の傾向を考察した文章を追加しました。以上です。
0:11:17	規制庁藤川です。ご説明ありがとうございました。
0:11:22	今お話いただいたことをですね、16ページにも記載しておいていただけると、
0:11:29	資料が読みやすく、規制側としてもより理解が進むのかなと思っておりますので、
0:11:35	今お話されたですね医薬設置率のクラタ65%とか50%とかの考え方とも整合するような
0:11:45	統計
0:11:47	等々の傾向を示している、ということも合わせて16ページの辺りに書いてもらえると。
0:11:54	わかりやすいかなと思うんですけども。
0:11:56	いかがでしょうか。
0:12:02	中国電力の落合です承知いたしました。ちょっと少し簡潔になるかもしれませんが65%のところでは誘発上下動がほとんど小さいってことと50から65に比べて、
0:12:13	50を下回る領域でちょっと9、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:16	急激に増大してるっていうような傾向のところですねもうちょっと説明を加えたいと思います。以上です。
0:12:39	規制庁藤川です。追記することについて、了解いたしました。
0:12:43	ではですねヒアリングコメントNo.14については了解ということにさせていただいて、
0:12:50	また今後その資料を追記した箇所については、また確認したいと思います。
0:12:54	よろしくをお願いします。それでは次のコメント回答をお願いします。
0:13:02	はい。中国電力の秦です。
0:13:05	では回答整理表の5ページに戻っていただきまして、
0:13:09	次はNo.15になりますけども、
0:13:12	No.16を先に説明させていただきたいと思います。先ほどの1034と同じ、別紙1に関するコメントですので、
0:13:22	先に16の方、説明させていただきます。
0:13:26	ご指摘内容としましては、起用論文及び評価対象建物の減衰の扱い及び、ジョイント要素の特性を示して説明することというものでした。
0:13:37	回答につきましては、補足説明資料をお願いします。
0:13:43	通しの11ページになります。
0:13:50	こちら、表の2-1として、
0:13:53	企業論文と評価対象建物、廃棄物処理建物の比較として、黄色ハッチングを追記しております。
0:14:01	まず、建物モデルの欄に、減衰がひずみエネルギー比例型であることを記載しました。
0:14:08	次に木曾キアガリの欄に、ジョイント要素の特性の図を示しました。
0:14:13	両者とも付着力以上の引張応力が作用した後は、引張が負担しない特性となっています。
0:14:21	それから、基礎底面の付着力の欄に、それぞれ考慮した付着力の値を括弧書きで追記をしています。
0:14:29	以上がコメントNo.16の回答になります。
0:14:34	規制庁の服部です。
0:14:36	それではナンバー16ですね、ただいまの説明に対して確認する点がある方お願いしますどうぞ。
0:14:42	はい。規制庁のコバヤシ説、
0:14:45	現世に関しましては
0:14:49	記載どうもわかりましたありがとうございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:51	一番確認なんですけども、
0:14:55	秋、
0:14:57	さらに基礎の浮き上がりをジョイント要素でモデル化してるところは理解したんですけども、
0:15:04	ここの部分に関しては、軸ばねと仙田真音でモデル化してると思うんですけども、
0:15:12	もしそう、そういうモデル化してるのであれば、その辺のばねの特性について何か、記載まであれば、記載していただきたいんですけども、どうでしょうか。
0:15:42	中国電力の柏木です。ジョイント要素の件ですが特性につきましては当社の廃棄物処理建物の特性を、廃棄物処理建物、
0:15:52	地震応答計算書の補足説明資料の方で具体的にお示しさせていただきたいと思います。ちょっと既往論文の方は記載がないのでこちらについては主
0:16:02	記載を割愛させていただければと思います。以上です。
0:16:06	ヤマシタじゃその時、個別の件で確認させていただきます。ありがとうございます。
0:16:14	規制庁の服部です。他あればお願いします。
0:16:20	規制庁の服部です。
0:16:22	ないようですので、ただいまの説明に対してはこれですということになるんですけれども今の、再度確認しますと、
0:16:40	企業論文についてはないので、この 11 ページの表 2 の一位の非カクウで比較するということはできないのでこれは、
0:16:50	このままにするということで、ただ一方で廃棄物処理建物については、今回、詳細設計をやるので、
0:17:00	具体的なその考え方というのがありますので、それはホストそちらのほうの補足説明資料で説明するという事で理解したんですけどそれでよろしいでしょうか。どうぞ。
0:17:11	中国電力の柏木です。ご理解の通りです。以上になります。
0:17:16	規制庁のハツリですはいわかりました。では今のナンバー16については了ということですのでよろしくお願いします。では次の説明をお願いします。どうぞ。
0:17:29	はい。中国電力の秦です。
0:17:31	では米、回答整理表の 5 ページをお願いします。
0:17:37	先ほど飛ばしました、No.15 の回答を行います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:43	コメント内容としましては、前回試験についても、追加試験と同様の位置付けで、統計的な考察を行うこと。
0:17:51	というものです。
0:17:53	こちらは補足説明資料の、
0:17:57	51 ページをお願いします。
0:18:08	こちらは別紙 2 の建物基礎底面の付着力に関する検討となっておりますけども、もともと前回試験の統計的な考察は、
0:18:17	この別紙のさらに下の階層の添付資料として整理していました。
0:18:23	今回ご指摘を踏まえまして、別紙の方に格上げして、追加試験の統計的な考察と位置付けを合わせました。
0:18:31	基本的には、
0:18:33	具体的には一番下のパラグラフからが、前回試験の統計的な考察になります。
0:18:40	52 ページをお願いします。
0:18:44	今回追加試験の統計的な考察に合わせて、一層グラムの方も追加しました。
0:18:53	具体的な内容は、前回ご説明した通りです。
0:18:58	以上がコメントNo. 15 に対する回答になります。
0:19:03	規制庁の服部です。それではただいまの説明に対して確認する点がある方お願いします。どうぞ。はい、規制庁の谷口です。
0:19:11	前回のコメントに従いまして、資料の作り方を見直していただいて非常にわかりやすくなったと思います。ありがとうございました。
0:19:21	それで結局、119 ページの添付資料 3 の中身については、もう本文中ホリ 52 ページ、51 ページのところに、
0:19:31	ごめんなさい、53 ページのところに移動したということなので、ダブってるということよろしいですね。添付資料 3 は、
0:19:39	もう
0:19:41	資料としては、もう同じものを書いてあるという趣旨ですよ。
0:19:51	はい。中国電力の畑です。概ね、今おっしゃった通りなんですけども、一応添付資料 3 ということで、もう少し別紙の方、
0:20:02	からちょっと詳しく、なお書きの方で、試験結果のばらつきについては、岩種ごとに評価した場合は試験によるものなんですけども、岩盤全体として評価した場合は試験によるものと、
0:20:14	岩種の違いによるものということで、この記載は添付資料の方だけに記載をしております。以上になります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:22	はい。ありがとうございます。これでわかりましたのでありがとうございます。これで結構です。
0:20:29	規制庁のハツリです他あればお願いします。
0:20:32	よろしいですか。
0:20:33	では次お願いしますどうぞ。
0:20:37	中国電力の秦です。
0:20:39	では、回答整理表のページ、今度はコメントNo.17をお願いします。
0:20:47	ご指摘内容は、添付資料 5 の試験地盤と建物直下地盤の同等性について、
0:20:54	追加、追加試験位置を示して説明することとご指摘いただいております。
0:20:59	回答につきましては、補足説明資料をお願いします。
0:21:04	通しの 125 ページになります。
0:21:15	こちらは添付資料を、そして都市圏地盤と建物直下地盤の同等性を説明する資料になりますけども、
0:21:25	左下の配置図をご覧ください。
0:21:28	ピンクで⑤として追加、
0:21:32	試験地盤というものを、今今回追加しました。
0:21:37	あわせて図の一番右下⑤として追加試験地盤のスケッチ図も、追加しております。
0:21:46	合わせて 120。
0:21:49	8 ページ。
0:21:51	もお願いします。
0:21:54	こちらは岩級区分の比較を示した図ですけども、
0:21:59	こちらです、岩相と同様にですね、追加試験地盤を追加しております。
0:22:07	以上が、コメントNo.17 に対する回答になります。
0:22:12	はい規制庁タニグチです。確認いたしました非常にわかりやすくなったと思います。
0:22:19	これで了解です。以上です。
0:22:24	規制庁の服部です他よろしいでしょうか。
0:22:28	はい。ないようですので、では次説明することがあればお願いしますどうぞ。
0:22:34	はい。中国電力の秦です。
0:22:37	続きまして回答整理表の 6 ページをお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:45	記載適正化箇所の説明を、
0:22:48	します。
0:22:50	ナンバー5と6は誤記形成なので説明は割愛します。
0:22:56	ナンバー7、8はまとめてご説明します。
0:23:00	こちらは前回ヒアリングでご指摘いただいた内容を反映した適正化になります。
0:23:05	具体的な箇所は補足説明資料をお願いします。
0:23:11	投資012ページになります。
0:23:17	これは既往論文の解析モデルを、
0:23:21	図として追加しました。
0:23:24	それから17ページ。
0:23:26	をお願いします。
0:23:29	図の3-3と図の3-4、黄色ハッチングしてますけども、もともとはですね、廃棄物処理建物の視点1、
0:23:40	とだけ記載していましたが、既往論文の
0:23:43	モデルの出展番号も、今回1.15ということで追加をしております。
0:23:49	以上が、記載適正化リストの七、八、Eの説明になります。
0:23:57	規制庁の服部です。それではただいまの記載適正化箇所について、確認する点があればお願いしますどうぞ。
0:24:09	規制庁植木です。
0:24:11	追加していただいてありがとうございました。ちょっと確認なんですけど、
0:24:21	17ページの結果ですね最大、
0:24:26	応答加速度、水平鉛直、
0:24:30	基準を、
0:24:32	論文の結果等、
0:24:34	かなりよく一致しているんですけど、
0:24:40	これに関して、
0:24:44	条件が大分違うと思うんですけど、P時を論文、PWRの原子炉、
0:24:52	提案、
0:24:53	ということとかあと島地盤条件とかですね。
0:24:57	ということで例えば
0:24:59	自分、10ページで言うと、自分、
0:25:04	条件に関しては、既往文献をVをする。
0:25:09	線

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:10	にして、
0:25:11	島野は 1600 幾つ。
0:25:15	ということで、若干、
0:25:17	違うとかあと建屋も当然違うと。
0:25:21	阿藤。
0:25:24	堂下。
0:25:25	した、出店の加速度を取り出した視点の 1 なんですけど、12 ページの既往。
0:25:34	文献のやつだと出展 15 っていうことで、
0:25:39	多分インナーコンクリートの上から二つ目あたりの視点。
0:25:46	に対して今回は、
0:25:49	廃棄物処理建屋の間や、
0:25:53	町歩の
0:25:55	等々、加速度を持ってきているというような違いがあるんですけど、そのような違い。
0:26:02	ばる一にもかかわらず、かなり結果が一致してるということについて、少し、
0:26:09	説明をお願いします。
0:26:30	中国電力の落合です。植木さんのおっしゃった通りで、そもそもモデルといたしましても、地盤の物性値も違いますし、建物のモデルもPとBで、
0:26:42	違いますし入力地震動ももちろん違いますし、あと、先ほど言った比較の視点も違うということですけども、結果がよく一致してるっていうのは基本的これ
0:26:53	基準化をして比較しておりますので、そういった意味で、傾向としては一緒になってると。当然いろいろ解析の条件は違いますが、
0:27:03	一つのこの設置率 30、30%程度のところで基準化して、そっからの増加元の具合を基準化して、比較しておりますので、傾向としてはよく一致してるというふうに考えてますで、
0:27:16	これに関して先行の他社さんでも同じような検討をされてまして、
0:27:21	同じような違いがあるけども、こういうふうに傾向は一緒になっていると、我々も考えておりますので、基準化していることで、
0:27:32	傾向を確認してるというふうに考えてます。以上です。
0:27:37	規制庁植木です。はい。わかりました。
0:27:42	具体的にちょっと質問さしてもらおうと、例えば今回、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:52	町
0:27:55	とそ令和。
0:27:57	衛藤。
0:28:00	どういう理由で町歩にしているかっていうのをちょっと教えていただきたいんですけど、例えば町歩じゃなくても、少し下の出典でも同じような、基準化してるので、
0:28:14	同じような結果になるとか、
0:28:17	ちょっとそのあたりがわかれば教えていただきたいんですけど。
0:28:30	規制庁です
0:28:32	ちょっと、何でこういう質問するかっていうと、逆に結果が合うような位置のものを持ってきたということは、
0:28:41	ないですよってということなんですけど。
0:28:48	中国電力の落合です。まず結果がウノのところ持ってきたってことはまずございません。
0:28:55	どこを比較するかってのもちょっとなかなか明確に決まってもモデルもちょっといろいろ先ほどおっしゃったですね、条件も違いますので、なかなかここを比較した方がいいっていうのが、
0:29:06	なかなか記名切れないところもありますので、今回に関しては、廃棄物処理建物一番トップの意向一軸モデルですので一番トップで比較をいたしました。
0:29:17	多分、少し下のところで比較しても、多分基準化をして比較すれば同じような傾向になるんだとは思ってはいますけども、なかなかそこ明確な基準もないので、
0:29:28	今回この 35%、
0:29:31	使うことの妥当性に関しては、この出典一番で比較をして、妥当性を確認したという説明になります。以上です。
0:29:40	成長だけです。わかりました。それと、
0:29:43	もう一つ質問なんですけど、これ、既往文献のものなので、
0:29:48	あれなんですけど、17 ページでいうと、
0:29:53	接地率Ⅱ、
0:29:56	一番上の括弧、括弧Bですかね、設置率に関しては、
0:30:02	VSⅡの線と2000の両方に、
0:30:06	対してプロットされていて、加速度についてはVs、
0:30:11	1000の結果だけなんですけどこれって何か文献に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:16	記載、書いてあるんでしょうか。要は加速度に関しては、どういう 1500 の結果が、
0:30:24	ないということなんでしょうか。
0:30:39	中国電力の柏木です。下側道の比較の水平と鉛直の加速度の比較の方は基本文献の方はAVS線の方しか、記載がございませんでしたのでこちらで比較しております。
0:30:53	以上になります。
0:30:55	規制庁与儀です。わかりました。
0:30:58	ちょっとその辺りをですね、
0:31:05	16 ページ、検討、3.3 の検討結果のところに、
0:31:12	少し、
0:31:15	逆に言うと、
0:31:17	傾向があつてるということに対して、条件が違うっていう。
0:31:23	ことにもかかわらず、例えば、さっき言われた、
0:31:29	落合さんが言われたその基準化しているの、
0:31:34	傾向としては変わらないとか一井に関してもそれほどそのどの位置をとっても変わらない。
0:31:41	というようなところをもう少し補足して書いてもらえないでしょうか。
0:32:16	中国電力の落合です。
0:32:19	ご指摘はわかりましたちょっと記載のほうを充実させたいと思いますんで、その中で1点だけちょっと
0:32:26	当社の方で比較したのが一番上の出典で比較しております、それ以外の出店の方でも同じような傾向にあるかっていうのちょっと確認はしております。1000、多分同じようになると考えて、先ほど私回答させていただきましても、
0:32:41	そこまで確認をしておりますので、一番上の視点で基準化をして、傾向が同じになったという事実を淡々とちょっと記載させていただくような形にさせていただければと思いますけどいかがでしょうか。
0:32:54	規制庁イケダ結構です。
0:32:57	藤。
0:32:57	よろしく検討お願いします以上です。
0:33:02	中国電力の落合です。承知いたしました。記載のほうを充実させたい、させていただきたいと思います。以上です。
0:33:10	規制庁の服部です。他、今の件について確認する点がある方お願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:15	よろしいですか。
0:33:17	それでは次お願いしますどうぞ。
0:33:22	はい、中国電力の秦です。
0:33:24	では回答整理表の 6 ページをお願いします。
0:33:30	と記載適正化箇所のナンバー9 になります。
0:33:34	こちらも前回ヒアリングでご指摘いただいた内容を反映した修正となります。
0:33:40	補足説明資料の方をお願いします。
0:33:45	通しの 25 ページになります。
0:33:52	これはですね、JNES報告書で獲られた愛知県を記載していましたが、 も、類、実際、どこから引用したかを明確するようにご指摘をいた だいてましたので、
0:34:04	JNES報告書からの引用箇所を下線にてお示しをしました。
0:34:09	ここで二つ目のポツをご覧いただきますと、これは直接的に引用されて いるので、
0:34:16	そのまま下線を引いているわけなんですけども、一つ目のポツの方を 見ると、
0:34:23	直接的な引用箇所はございませんので、
0:34:27	括弧書きで引用箇所を記載をしております。
0:34:32	衛藤さん 19 ページの方もお願いします。
0:34:40	こちらも同様にですね、
0:34:42	JNES報告書からの引用箇所を下線で押しお示しをしています。
0:34:48	以上が、ナンバー9 に関する適正化になります。
0:34:54	規制庁の服部です。それではただいまの点について確認する点がある 方お願いしますどうぞ。
0:35:08	規制庁小林です。記載委員時、記載の記述は確認しました。わかりまし た。はい、結構です。
0:35:18	規制庁の服部です他よろしいでしょうか。
0:35:22	はい。それではコメント回答と適正解釈の説明はこれでよろしいでしょ うかどうかどうぞ。
0:35:32	はい。中国電力の秦です。
0:35:35	ヒアリングのコメント回答と規制下適正化リストに関する説明は以上にな ります。
0:35:43	規制庁のハツリですはいわかりましたそれでは引き続き説明するところ があるか、あればお願いしますどうぞ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:50	中国電力の秦です。
0:35:52	では木曾藤。
0:35:55	回答整理表のですね 3 ページをお願いします。
0:36:02	こちらは、
0:36:04	審査会合の指摘事項に対する回答整理法になります。
0:36:09	これは昨年 12 月 7 日にいただいたコメント意見でございます。
0:36:15	コメント内容としましては、
0:36:18	建物の地震応答解析における基礎浮き上がり評価について定性値率となる見込みである複数の建物に対して、複数の表を使い分けて適用することは、
0:36:29	島根サイトの特徴であることから、
0:36:31	その妥当性について建物基礎底面の付着力の論点とあわせて今後説明することというものになります。
0:36:39	回答につきましては、これまでご説明した通りなので、この回答整理表の内容でご説明をします。
0:36:49	解答欄の方をご覧ください。
0:36:54	まず、島根 2 号、2 号の建物構築物は、ジャック 4601 に示される浮き上がり非線形応答解析による、
0:37:03	地震、基準地震動 S_s に対して接地率を算定することを基本とし、
0:37:08	65%を下回る場合の別途検討は、尺 46012008 及び、
0:37:14	2015 の評価フローを参考に、人をどう解析モデル、
0:37:19	基礎浮き上がり評価法の選定フローを整理しました。
0:37:23	また付着力は、島根サイトにおける付着力試験の結果、
0:37:27	これは追加試験も含まれますけれども、試験結果に基づき、0.402 と % スケア mm に設定しています。
0:37:36	さらに、ジョイント要素を、付着力考慮を用いた 3 次元 FEM モデルによる接地率の適用範囲、35% 以上としたことについて、解析的検討等により、適用性を確認しました。
0:37:50	以上のことから志間任用金を置いて各建物、重要 SA 施設や波及的影響も含めて、地震応答解析モデル、基礎浮き上がり評価を使い分けて適用することの妥当性を確認しました。
0:38:04	以上がカイゴコメントに対する回答になります。
0:38:09	規制庁の服部です。それではただいまの会合コメントに対する回答に対して確認する点がある方お願いしますどうぞ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:18	規制庁チギラです。こちら、昨年の 12 月の会合のときに、主要な説明事項として
0:38:29	設定付着力については言及があったんですけど、
0:38:34	もう少し大きな括りとして地震応答解析モデルの基礎浮き上がり評価法というのが、ちょっと説明が
0:38:43	明確にするっていうことがなかったのでもっとコメントさせてもらったんですけどこの内容を含めてですね、会合で説明いただくということで理解しましたので、この内容については結構です。また会合の中で確認させていただきます。
0:38:58	以上です。
0:39:01	規制庁の服部です。他あればお願いします。
0:39:06	それでは私から 1 点確認させていただきます。
0:39:09	今のコメントについては、
0:39:12	嶋の特徴として複数の手法を使い分けて適用することが、
0:39:18	適用していると、その妥当性について説明するようにという説明、
0:39:24	コメントだったと思うんですけども。
0:39:26	ちょっと今の回答整理表の 1 ページの方を見ていただきたいんですけども、
0:39:32	ここに申し送り事項の 4 番と 5 番。
0:39:36	というのがあります。
0:39:38	この 4 番と 5 番については、
0:39:42	特別な件、例えば 4 番ですと特別な検討における誘発上下動の扱い。
0:39:48	5 番だと 3 次元モデルの誘発上下動の扱い。
0:39:52	ということで、特別な検討におけるモデルというのは 3 次元モデルなので、この二つは同じ。
0:40:00	ことをほぼ言ってるのかなということなんですけれども。
0:40:04	これについて後日回答になっているんですね。
0:40:08	これを後日回答とすることによって、
0:40:13	今回このコメンえっとし、審査課 12 月の審査会合による指摘事項の、この
0:40:21	仕事解析モデルの考え方。
0:40:24	これーについて、説明する
0:40:30	後日回答にしてもこの説明ができるんでしょうか。
0:40:35	ちょっと感覚的にわあ、
0:40:39	特別な検討における、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:42	西本解析モデルの考え方に含まれてると思うので、
0:40:47	これも該当しないと。
0:40:50	12月の審査会合におけるコメントの回答としては不十分かなという気もするし、
0:40:59	またほかに違うような考え方で説明をするということであれば、それはそれで理解はするので、少しそこら辺の考え方中国電力の考え方を、
0:41:11	説明をお願いしたいんですがよろしいでしょうかどうぞ。
0:41:19	中国電力の落合です。江藤先ほどの件ですね、12月7日にいただいたコメントに関しましては、事情等解析モデルの使い分けの考え方を整理して説明することということで、
0:41:33	これに関しては、基本的にフロー、大瀬、こういうフローに基づき、地震応答解析モデルの浮き上がり線形、浮き上がり、
0:41:42	特性についてですね、設定するっていう考え方についてご説明させていただくところを考えております。で、
0:41:49	先ほどの申し送り事項の4番5番については、ここは具体的な評価結果のところになるのかなと思います。これ先ほどおっしゃった通りで、廃棄物処理建物の事情等解析をやった結果として、
0:42:03	出てくる誘発上下動の扱いをどうするかということになる、なりますので、こちらについては、廃棄物処理建物の消灯計算書の説明を公募して、
0:42:14	いきますので、その中で計算した結果、誘発上下動がこのぐらい出ているとか、その影響がどうだとかいうことを、検討させていただき、いただいて、ご説明させていただくということで、
0:42:29	いうふうに考えております。ですので、少しそこは、この審査会合でいただいたコメントと、付着の論点Aに分類されているものとは少し切り分けてご説明させていただければと。
0:42:42	いうふうに考えております。以上です。
0:42:46	規制庁の服部です。はい。
0:42:48	少々お待ちいただいてよろしいでしょうかどうぞ。
0:43:04	規制庁の服部です。
0:43:06	少し確認をします。
0:43:09	ここのですね1ページのところはあくまでも、
0:43:14	誘発上下動の
0:43:16	考え方、方針。
0:43:19	これを説明するように、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:21	という、審査会合とヒアリングにおける指摘事項、申し送り事項ですね。
0:43:26	だと思います。
0:43:28	その結果に対する、
0:43:30	答え、結果に対して3、廃棄物処理建物の方で具体的に説明するという ことは、承知をしたんですけれども、
0:43:42	この考え方について説明する場合は、
0:43:47	先ほど、
0:43:48	フローと言っていたのはおそらく、補足説明資料の7ページのフローだ と思うんですけれども、
0:43:55	この中、Dの考え方も含めて仕事解析モデルの妥当性というのが説明 されるんじゃないかなということもあって、
0:44:07	少しちょっと今のか中国電力の説明に対して、
0:44:13	どうかなってというのが少しちょっと考えています。
0:44:19	それは今ちょっと考え中なんですけれども、
0:44:23	ちょっと事実確認としては、
0:44:26	今の説明の中では、
0:44:29	誘発上下動に対する影響というのは
0:44:34	廃棄物処理建物の場合はS誘発上下動の影響はおそらくほとんどない ということだと思うんですけれども、
0:44:42	実際に誘発上下動については、
0:44:45	考慮するのかわからないのかについては、どのようにお考えでしょうかどう ぞ。
0:45:03	中国電力の落合です。誘発上下動の扱いにつきましては、先ほどおっ しゃった通りで7ページのフローの右下のところの補足3のところ書 いてますけども、
0:45:13	基本的な方針としては、油圧上下の影響をちゃんと確認するというか、 営業課考慮するっていう方針にしております。で、実際の計算書上の扱 いとしましては、先行機も同様ですけども、油圧上下動、
0:45:29	ほとんど出てこない。
0:45:31	ていうか影響ほとんど出てこずに、影響もありませんので、そこら辺につ いては結果もあわせて、廃棄物処理建物経産省の中で、結果も併せて ご説明させていただいて、こうこうだから、影響ないと。
0:45:45	いうふうに説明をさせていただくように考えておりました。予定、先ほど のコメントリストの一番についてはですね、これについてはそっちの方で 回答するってことで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:57	後日回答というか、これ
0:46:00	分類もDにしておりましたので、そちらの方で説明させていただきたいと、いうふうに考えておりました。以上です。
0:46:17	規制庁の服部ですはいわかりましたえ一つとですね今の話を、
0:46:24	まとめるというか、こちらで噛み砕くと、
0:46:28	その遊技場誘発上下動の圧扱いについて、
0:46:36	廃棄物処理建物ですね、扱いについては、詳細については、
0:46:45	廃棄物処理建物のところの補足説明資料で、詳細に説明をいただけるということで、これは後日回答ということにします。
0:46:53	ただ一方で、
0:46:57	考え方の概要というか、
0:47:00	考え方の一部としてわあ、7 ページのところの補足説明資料 2、その考え方も書いてあるので、
0:47:13	1 ページ目の、
0:47:14	4 と 5 については正式な回答は、補足す
0:47:20	各建物の補足説明資料のところにするんだけど、
0:47:23	考え方に一部については今回も説明があるということで理解をしたんですけどそれでよろしいでしょうかどうぞ。
0:47:35	あ、中国電力の阿比留です今の服部さんのご理解で結構ですので、今回我々この 7 ページに関しては、基本的には誘発上下動を
0:47:46	考慮するっていう考えだと、いうことですんで、ただし、影響がない場合は、結果として考慮しないということもありますので、そういうことを、
0:47:57	大戸経産省の方でしっかりご説明していきたいというふうに考えているということです。加藤さんおっしゃる通り、のことを今、繰り返して言いました。以上です。
0:48:10	規制庁の八田ですはい。わかりました。
0:48:12	ちょっと 1 点だけ確認しますけれども、現状設計を進めてる段階で、ある程度、設計も、
0:48:22	中盤以降に入ってると思うんですけど、
0:48:26	現時点で、
0:48:28	いえる範囲で結構ですけど、
0:48:31	誘発上下動わあ、あまり影響がないけども、一応考慮する。
0:48:37	という現状ではその方針だ。
0:48:40	ということで理解すればよろしいですか。
0:48:42	それとも、結果的にあんまり影響がないのもう、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:46	考慮スルーしない。
0:48:48	ような方針に今、中国電力は考えているということによろしいですかどちらの方でしょうかどうぞ。
0:48:55	中国電力の落合です結果から申し上げますと考慮しないです。これについては先行機の3次元モデルと同様で、油圧条件とほとんど、
0:49:05	出てないのは当社も同様な傾向でございますので、その辺の結果もまたあわせてご説明させていただきたいと考えてます。以上です。
0:49:14	規制庁の服部です少しお待ちください。どうぞ。
0:49:18	規制庁の宮です。
0:49:21	今経緯で、
0:49:23	3次元の地盤の応答は油圧上下動を評価できるんで、一応考慮はするんですけども、これは今度逆に言うと17ページの先ほどの、
0:49:34	今表っていうか、グラフを見てくると、確か廃棄物処理は接地率が98%ぐらい。
0:49:43	の部分に来ていたので左上で見ればほとんどユア通常事ってのはもう入らない状態ですよ。
0:49:50	左下ですか。
0:49:52	だから、考えとしては、油圧上下動っていうのは、評価対象には入れるんですけども、ほとんど影響がないので、結果的にはそれから先の設計結果には、
0:50:05	もう入れないで考えるんだっていうのが、今、中国電力の考え方というふうに、榎下端ですが、そういう理解で正しいですか。
0:50:16	中国電力の阿比留です今三浦さんまさにおっしゃった通りです。
0:50:22	要するに考慮するっていう大前提に立つんですけども、影響がない範囲で、誘発上下動が発生していないので、結果して設計としては考慮しないと、そういうご理解でいいと思います。以上です。
0:50:35	規制庁の三田です。そうすると、廃棄物処理の方で出てくるのは、誘発上下動を考慮したやつと考慮しないやつのスペクトルか何かわかりませんが出てきた応答企画が出てきて、
0:50:46	ほとんどニアリーイコールだから、今後それ以後は設計上考慮しませんっていうような資料が作られてくるというふうに思ったんですがそれでいいですか。
0:50:58	中国電力のオチアイイソ今おっしゃった通りの資料をですね今後用意しておりますので説明させていただきたいと思います。以上です。土岐タジミです。だとすれば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:07	例えば、このままだとね、17.7 ページのフローチャートのやつを右下見ると、
0:51:15	もう確実にこれは設計上考慮するって読めちゃうんですよ。
0:51:20	だから、今のお話を聞いている正しく書くと、いうファクツ上下動の影響は検討して、その検討結果が有意であれば考慮する市有じゃなければ考慮しないっていうのが方針のような気がするんですがいかがですか。
0:51:45	中国電力の阿比留です。まさに三浦さんおっしゃる通りのことだし、
0:51:52	我々としてもそういうふうにするんですけど、以前ですね規制庁さんの方から、
0:52:00	こういうふうに書きなさいっていうふうにご指導いただいていたという経緯があって我々はこういうふう、
0:52:06	書いています。以上です。ちょっと規制庁の方から言われて言ったということだとあんまり言えないんですけども、
0:52:14	それはそれとして、その基本的な考え方はちゃんと考慮するんだけど、影響あるなしで、考慮しない場合もあるっていうのは、明確にやっぱり書いていた方がいいと思いますよ。
0:52:24	それじゃないとやっぱりこの言葉だけだと誤解されてしまうと思うので、そういうふうに直していただいた方がいいと思います。
0:52:30	それとあと、
0:52:32	先ほどちょっと 8 鳥居とのやりとりの中で、申し送り事項の 4 号も、これも今のお話で、7 ページの今、右下の部分、こういう考え方で誘発上下動は今後とらえていくんだっていうのを記載されてれば、そこで 1 回もう、
0:52:48	この回答はクローズしとして、なお詳細な検討結果はどこそこに示すとかっていう方が、
0:52:55	何かすっきりするような気がするんですが、どうでしょうか。
0:53:00	中国電力の阿比留です先ほどの 7 ページのところについてはですね我々やっていることはもうまさに三浦さんおっしゃる通りなので、そういうふう、
0:53:10	ここに書いてある 4 ページのところもですね全体として付着の関係はここでクローズさせるということは我々も望むところなので、そういうふう、
0:53:21	後程説明するというようなことでここはクローズさせていきたいと思いたすありがとうございました。
0:53:49	規制庁の勝です。先ほど阿部さんの言った、4 ページっていうのは、
0:53:55	申し送り事項のナンバー 4 のことでしょうかどうぞ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:02	中国電力南部です。おっしゃる通りです。
0:54:05	規制庁のハットリず相違ということは先ほど三浦の発言もある通り、
0:54:10	中国電力側の考え方としては、背
0:54:14	申し送り事項の4番と5番については、今回、その上下動の扱いに対する考え方を、説明をきちんとしておい。
0:54:24	考え方についてはきちんと質問しておいて、その考え方に基づく、その方針だとか、結果とかいうのは後日詳細に
0:54:36	廃棄物処理建物の説明の時にしますというようなことで、クローズさせるというふうに、こちらとしては解釈したんですけどその通りでよろしいでしょうかどうぞ。
0:54:49	中国電力の阿比留です。おっしゃる通りです。以上です。
0:54:53	規制庁の羽鳥ですはいわかりました。では
0:54:56	事実確認しました阿藤ほかに確認する点がある方お願いします今の件に関して、
0:55:06	規制庁植木です。ちょっと今の件です、少し確認させていただきたいんですけど。
0:55:14	現実と
0:55:16	設計床応答スペクトルの策定方針の図書で廃棄物処理建屋、
0:55:23	に関しては地盤FEM解析、
0:55:26	の結果によるいいはずじゃけど、
0:55:30	を考慮した、
0:55:33	向こうとスペクトル考慮して床応答スペクトルを策定するっていう、確かそういう方針だったと思うんですけど。
0:55:41	今
0:55:43	検討して今日、
0:55:46	なければ考慮しないっていうところと先ほどの衛藤。
0:55:52	言っとるの方では考慮するって言ってる。
0:55:55	方針のちょっと関係を教えていただきたいんですけど。
0:56:05	少々お待ちください。
0:57:07	規制庁です。今の点に関しては少し整理していただいて、別途回答していただくということでも構わないんですけど。
0:57:21	中国電力の阿比留です今の植木さんのご質問に関してなんですけど、事実関係を言えばですね、建築は考慮してないんですけど、セキ応答スペクトルの方には考慮していると。
0:57:34	言う古藤なんですよ。で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:40	ちょっとそこら辺多分整合してないっていうことを、ご指摘いただいてるっていうことなんですけど、それに関して、なかなか回答難しいなっていうところはちょっとあってですね。
0:57:54	どうしようかなっていうことでちょっと今回答に時間をかけてたところなんですけど、
0:57:59	事実関係としては先ほど言いましたように、機電さんの方は本当に微小ではあるんだけど、
0:58:07	達しているっていうことです。
0:58:10	以上です。
0:58:12	規制庁大木です。はい。事実関係はわかりました。
0:58:16	機械的にほとんど影響がなくても、
0:58:21	ところ考慮をし、
0:58:23	というのと、
0:58:25	藤家、その結果を見て判断するっていう違いはあるのかなと思ったんですけど、そのあたりは、
0:58:37	一応事実関係はわかりました。はい。以上です。
0:58:45	規制庁の服部です他あればお願いしますどうぞ。
0:58:49	規制庁の三浦です。阿比留さんながら、ちょっと不整合のような気がするんだけど、
0:58:55	建築的に見ればもう本当に何の影響もないぐらいのオーダーしか出てこないの、それはそれでもうネグレクトすると基本的にはそれがベースにあるのかな。基本的には考慮するんだけど全く影響がないものについては、例えば建築に関しては、
0:59:10	結果的に考慮しない。
0:59:12	でもスペクトルは少し影響があるかもしれないから、一応誘発上下動は考慮して検討しますって、
0:59:20	いうふうな結果として何も悪いことはないの、その辺をちゃんと、どういう使い方掛けしてるかはどっかで整理しといたらいいと思います。いかがですか。
0:59:31	はい中国電力の阿比留ですちょっともうまさに今三浦さんおっしゃった
0:59:37	通りなんですね。要するに建築の見方真木前の見方もちょっとあって、そういうところもあって、建築基準ですべて一致してないっていうことも当然あるので、
0:59:50	そこら辺はですねわかるようにですね、どこかに書くようにいたします。井戸です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:59	わかりました。規制庁の三浦ですけど、もうその辺のところもしかするとあれですね先ほどの申し送り事項の4番5番の辺りに、
1:00:08	どっか整理されておくといいかもしれませんね。
1:00:14	中国電力ナビですそこら辺ちよっと検討いたしましてですね何らかの形で反映させたいと思います。以上です。はい。よろしくお願いします。私から以上です。
1:00:26	規制庁のハツトリです。
1:00:28	ただいまの件に関して確認する点がある方、お願いします。よろしいですか。
1:00:35	はい。では少しいろいろとは話がありましたけど、整理することとか、今回の申し送り事項の回答の考え方とか、
1:00:46	そこら辺をきちっと対応していただくようにお願いします。
1:00:52	ほかなければ、続いて説明することがあればお願いしますどうぞ。
1:01:01	中国電力の落合です。当社の説明は特にございません。以上です。
1:01:06	規制庁の服部です。はい。それでは今回の提出資料全体に対して確認する点がある方お願いしますどうぞ。
1:01:26	すいません、規制庁のイイバと申しますけれども、
1:01:30	ちよっと17ページでちよっと確認したいことがあるんですけども、
1:01:34	起き上がりの話はあるんですけども例えばこれで、
1:01:38	浮き上がった場合に例えば、設置率が30%になったとすると、
1:01:44	建物の自重をですね支える場合に、
1:01:47	受ける面積が3割しかなくなるというふうなことになるのと、
1:01:52	ちよっと原子力発電所の
1:01:54	設計等でかなり安全率をとってあると思うんですけども、通常の建築だと、
1:02:00	終局に対して3分の1で長期とかいう数字になってますので、
1:02:04	例えばそういう、浮き上がる方じゃなくて指示する側で、
1:02:09	浮き上がった場合に、
1:02:11	特にその安全性とか安定性について、特に問題になるようなところはないかどうかを、ちよっとそれを教えていただきたいんですけども。
1:02:26	中国電力の落合です。この図7ページの解析はあくまで基準地震動を使って、ケースバイをして主試解析的にちよっと口径数倍した解析で、あくまで基準地震動による検討ではありませんので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:40	実際、廃棄物処理建物設置率は 80%とか 90%とか、ほとんどが設置した状態ですので、支持力に関しては特に問題ない結果となっております。以上です。
1:02:53	例えば安全率みたいなものでいうと、浮き上がったときに、
1:02:59	当分ボードどの数字を持ってくるかがちょっと問題なんですけども、例えば褶曲を持ってくるのか少しもう安全弾性範囲という数字を持ってきたものに対して、
1:03:10	実際に息上がった時に生じている。
1:03:13	鉛直荷重というか援助効力が、どれぐらいの感じになってるかっていうのはわかりなるでしょうか。
1:03:28	少々お待ちください。
1:03:54	中国電力の落合です。支持力につきましては、基本的に大口は極限支持力を使っていますオーダーでいうと、9.8 ニュートンパースファミリーぐらいです。で、
1:04:05	製図の時の接地圧は大体 1 とか 2 とかいうオーダーの数字、ちょっと数字はうろ覚えで、若干違うかもしれませんが大体そのぐらいの数字です。ですので、
1:04:16	キョウチに対して相当余裕のある、支持力となっているというふうに考えてます。以上です。はい。
1:04:23	ありがとうございます。基本的にはそのの、
1:04:25	浮き上がった基礎の部分に、想定されない、何か、
1:04:30	例えばレベルコンクリートがつぶれてしまうとかですね、そういう解析条件にのってこないようなものが、モデル化できてないような場合にはちょっと注意が必要かなというふうに思いましたので、
1:04:41	質問をさせていただきました。ありがとうございました。
1:04:47	規制庁の服部です。それでは全体を通して確認する点がある方お願いしますどうぞ。
1:04:58	規制庁チギラです。すいません。一点確認させてください。
1:05:02	藤。
1:05:05	補足人通しの 7 ページの
1:05:10	フロー
1:05:11	の中です、これ一、ちょっともしかしたらもう以前に説明を受けたかもしれないんですけど、
1:05:19	すいません廃棄物処理建物、
1:05:23	について、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:24	この黒の中では、SD
1:05:29	印税設計用地震のSGに対しては、浮き上がり線形JRRモデルで
1:05:36	建設に対しては、
1:05:38	ジョイント要素を用いた3次元FEMモデルということでちょっと使い分けをされていて、
1:05:44	確か許可人はSDとかSsとかそういう使い分けがなくって、廃棄物処理建物、
1:05:52	でやりますっていう説明だったと思うんですけど、ちょっと今回こういつた作り分けをしている理由についてですねちょっと説明をお願いしたいと思います。
1:06:12	中国電力の落合です。詳細につきましては以前ヒアリングの時にコメントいただいた各建物の、このモデルがですねどう、どのフォローどうたどって、
1:06:23	数字が、数字がどうだからこの右に行くとかっていうのをご説明すること、これについてはradの、
1:06:29	廃棄物処理建物事象と計算書の中でご説明させていただきたいと考えてます。で、
1:06:34	ここ使い分けてることに関しましては、フロー左からずっときてですね、
1:06:41	SSに関しては、付着力を考慮しても浮き上がりが発生しないための必要な付着力のこの設置率が100%にならないので、3次元FEM
1:06:51	FEMモデルでやってます。これについては、先ほどちょっと言ってる通り設置大体80%とか90%とか、わずかに浮き上がったような状態にSs-Dはなるので、3次元モデルを使ってますと、
1:07:04	一方SDに関しては基本的にSsの半分程度ですので、浮き上がりに関してはですね十分線形範囲ということで、
1:07:14	ここはモデルを使い分けてやっているということでこれはあくまでもモデル化に関しては地盤ばねは、
1:07:20	FEMでやるかばねに、SRの据え置き9番にするかという違いだけです。ここはあくまで計算上の簡略化といいますか、省力化っていうことで、モデルを使い分けてるってことで、
1:07:33	瀬付着を考慮して、
1:07:36	廃棄をやってるっていう前提条件に関しては、SsもSDも合わせてやっていると、そういう考え方になります。で、ちょっと繰り返しますけどこれについては廃棄物処理建物の方ですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:49	詳細をですね、ご説明させていただくように以前コメントいただいておりますので、また、補足説明資料の方用意して、ご説明させていただきたいと思います。以上です。
1:08:02	はい。規制庁のテライズ、すいません以前、
1:08:06	説明されたということで失礼しました。それで、今の説明を聞くと、あくまでもこのフロー。
1:08:14	に沿って評価をしていくと、
1:08:18	廃棄物処理建物については、 S_s は3次元になってSDはAと。
1:08:23	浮き上がり線形別あるその中で、フローが流れていくということでフローフロー制にしてそういう整理をされたと、いうことで理解をしました。
1:08:36	一方で
1:08:38	建物、例えば廃棄物処理とてもの
1:08:43	建物、
1:08:45	ごとにモデルを固定するっていう方法もあろうかと思うんですけど、
1:08:51	そうしなかった理由としては、
1:08:54	結果的には3次元のFEMモデルでやっても、浮き上がりの線形ざるモデルであっても、SDの結果としては、
1:09:05	ほとんど変わらなかったとか、そういったことを、
1:09:08	この技術浮き上がり線形ざるモデルを
1:09:13	やって
1:09:15	モデル化を使い分けてるという、
1:09:19	ふうに理解しておけばよろしいですか。
1:09:27	中国電力の落合です。廃棄物処理建物例えばSDについては、浮き上がり線形のSRモデルでSway-Rockingのばねで応答解析をやっていて、例えばそれを
1:09:38	同じ3次元モデルでやっても、同じ結果になるかってのも、
1:09:42	確認まではしてありませんけども、あくまでここはどちらが正しいっていうわけではなくてどちらも正しいということで、このフローを流して、案、3次元モデル少し計算とかですねモデル化とかが、
1:09:54	少し大変ですので、そういった意味ではどちらも正しいものを使っているというふうな考え方になります。以上です。
1:10:07	規制とチギラです。その考え方は大体わかりましたが、
1:10:12	当間、
1:10:13	何となくですね廃棄物処理建物については3次元のモデルがあるんであれば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:24	それをですねSDで、
1:10:28	計算した結果等
1:10:30	選挙SRのモデルでやった結果っていうのがですね、比較しても大きく変わらないよとかっていうことがわかればですねそれはそれでまた
1:10:44	付託。
1:10:46	についてはですね、一つ、また、
1:10:51	何ですかね、説明の、
1:10:57	アイテムというかですねことになるかなと思ったんですけど、今の時点では
1:11:04	SDでは3次元FEMモデルはやってないということだったんですけど、ちょっとこれはあれですかね、1比較をして、
1:11:14	今後ですね比較して、何か結果を説明していただくことっていうのは可能。
1:11:21	でしょうか。
1:11:48	中国電力の阿比留ですチギラさん今おっしゃってた要するに
1:11:53	SDに関して3次元とSway-Rockingを両方やればいいんじゃないかっていうゴトウも、そりゃや、やれないことはないんですけども、
1:12:04	ちょっと先行電力なんかも見るとですね、そんなことはやってないっていうこともあるし、
1:12:13	もう要するにSsの波事によってももうモデルを変えてたりしてですね。
1:12:19	それぞれのフローに従ってやってると、我々このフローが正しい性としてやっているのです、
1:12:28	比較をしたらですねまたそれは当然そのモデル化のやり方が違うので、結果も若干違ってきます。当然のことながら、
1:12:40	なので、それをお示して、
1:12:47	いいのかどうか、というのもちょっと
1:12:50	悩ましいところではありましてですね。
1:12:54	我々としてはもう設計の考え方はこうです、それぞれの手法が正しいんですけど、なので、我々はこのフローに従ってやりますということを先行も含めてそういうふうに行っているのです、
1:13:05	我々もそうさせていただきたいというふうに考えておりますけどもいかがでしょうか。
1:13:21	規制庁の三浦です。安部さん多分言ってるのは、今までのねジャグ4601で記載される左の方、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:32	この部分に関してはもう自身はに応じてモデルも当然変わってくるので、そういう使い分けをしてるんだけど、
1:13:39	今回新たに付着力を考慮して、7ページのようなフローチャートを中国電力さんとしては作られてると。
1:13:47	いうこともあって、
1:13:49	ここは多分ジョイント要素の3次元モデルとSR系のモデルでも大きな差が出たらおかしいし、
1:13:58	もう細かいところを見るとある程度差が出てくるのはもう当然だと思うんですが、比較対象取得っていうのが、説明今度のこのフローチャートに対する説明性を向上することになると思うんですが、どうでしょうか。
1:14:13	中国電力の阿比留です。そういうことであればですねもう、
1:14:23	どうしようかな。
1:14:24	の方、
1:14:26	やると。
1:14:27	いうことで、承知いたしました今回のこのフローの中で、どうのこうのっていうことではなくてですね、経産省の方ですね、敷設ですね、
1:14:38	ご説明させていただきます。ただし、当然そんなに違う結果が出てこないってことでありますけども、それを全く一致したことが出てこないってことはミウラさんご理解されていると思いますので、
1:14:52	そこら辺は合理的な説明ですねこういう違いがあつてこうなんだろうというふうなことを書かせていただくと。
1:15:02	いうことで承知いたしました。
1:15:05	規制庁の三浦です。3次元の方はもうモデルS _s -Fにあるということで、
1:15:11	我々もそんな負担にならないんじゃないかなというふうにちょっと思っていて、ちょっと5メールをご無理を言っています。で、我々としてもこれ、庁内でも説明していくときに、SDとS _s がモデルが違うってこれは本当にいいのか。
1:15:26	ということに対して答えを持ってなければいけないので、そういうふうな数値的な根拠を定量的な根拠を持ってるだけで我々としても、庁内説明しやすくなりますのでぜひよろしく願います。
1:15:41	中国電力の阿比留です。承知いたしました。ただ一つちょっと申し上げておきますとですね計算、数日かかります。大変な計算であるということです。ただ、
1:15:53	しっかりやっていきたいと思います以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:56	数日かかるのは重々わかってますんで、今度の審査会合にどうこうっていう話ではないと思うので、ある程度時間はまだ先が、結果を見せていただくのは結構だと思いますんで、
1:16:11	すいませんがよろしくをお願いします。
1:16:14	中国電力内部です。承知いたしました。
1:16:19	規制庁のハットリです他あればお願いします。
1:16:22	よろしいですか。
1:16:24	規制庁の服部です。ちょっと今の件に関して少し念のための事実確認だけちょっとさせていただきます。
1:16:31	3次元モデルだ等、
1:16:33	鉛直動、上下動も同時入力できると思うんですけども、
1:16:38	すべてのそのモデルに対して、
1:16:41	上縁、上下動のモデル鉛直動のモデルというのは、
1:16:47	清ロッキングでやるということでもよかったですよねという念のための確認だけさせていただきますどうぞ。
1:17:14	少々お待ちください。
1:17:55	お待たせしました中国電力の落合です。衛藤。
1:17:59	Ssに関しては、鉛直についてですけども、Ssに関しては、この水平と同じように、地盤3次元の上西点検をつけたモデルで、鉛直の方も頭カツキをやっておりますので、
1:18:11	SDに関しましては、このSRモデルと同じ考え方で、下に鉛直の地盤ばねをつけたモデルでやってるということで、鉛直に関しても同様に、
1:18:23	SsとSDに関してはモデルを使い分けてやっているということになります。以上です。
1:18:29	規制庁の服部です。はい事実は確認しました今回の
1:18:35	論点とは少し関係なかったんですけど、あくまでも事実関係としてだけ確認させていただきました。
1:18:40	はい。その件についてはわかりました。
1:18:44	他に。
1:18:45	全体を通して確認する点がある方お願いします。
1:18:49	よろしいでしょうか。
1:18:51	そうしましたら私から1点だけ確認をさしてくださいというか、お願い、
1:18:56	要望があります。
1:18:58	17ページお願いします。
1:19:01	まず事実確認として、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:03	ここのにゆ 17 ページこの図にある入力地震動というのは、
1:19:09	廃棄物処理建物の方ですね。
1:19:11	どういう地震動なのか、これ。
1:19:15	基準地震動、いわゆる、
1:19:18	解放基盤表面での地震動ではなくて、
1:19:23	モデル化した位置での地震動。
1:19:26	かなあ。
1:19:28	というふうに考えてるんですけども。
1:19:30	この入力地震動というのはどういう地震動なんでしょうかどうぞ。
1:19:44	中国電力の柏木です。今のご質問ですが入力地震動は廃棄物処理建物の董事長と経産省の方にもつけている、入力地震動をケースバイしたものにになります。以上です。
1:20:00	規制庁の服部です。
1:20:03	藤。
1:20:08	お仕事、
1:20:10	経産省の中につけている入力地震動って、
1:20:17	どこのレベルの地震動ですかELで言うと、何メートルですかどうぞ。
1:20:30	中国電力の落合です。廃棄物処理建物はですね解放基盤表面の基準地震動を、一旦、深いところまで下げて、もう1回上げて、基礎マット下の入力地震動を、
1:20:43	評価しておりますので、廃棄物処理建物につきましては15ページのモデルに書いてる、いえる、
1:20:51	EL0.0 ですね、ここの入力地震動を求めてあげてます。ただ、これ3次元モデルになりますので、
1:21:01	入力地震動を、その1、これちょっと少し複雑なりますけども、3次元モデル、
1:21:08	基礎下のL0.0 のところの入力地震動が、政府で求めた入力地震動と、
1:21:16	一致するような等価入力度をこの3次元FEMの地盤モデル下端ですねこれが要はばね外に、の入力地震動を求めるというのがこの3次元モデルのやり方ですので、
1:21:27	そういう具体的なやり方としてはそういったやり方になりますんで、そこら辺のやり方については、廃棄物処理建物の3次元事象と経産省の方、方とかですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:38	補足説明資料の方での詳細は、ご説明させていただくということで、この資料に関しましては、ちょっと簡潔にSs-Dを使って検討したと。あと、
1:21:48	先ほど言った基準化をしておりますので、何を使っても一緒だと思いますけども、文章としてはSs-Dを使って、入力地震動をケースバイケースで、検討しましたと、というような記載にさせていただいております。説明は以上です。
1:22:06	規制庁の室です。
1:22:07	落合さんあれですよ今のご説明、内容わかりました。あくまでも、三次元、
1:22:14	30mの基礎スラブ沿 0.0 のレベルでの入力地震動なんだけど、SHAKEの結果、
1:22:23	網を合わせるように、そこを補正してやって、この 15 ページの解析 3 次元地盤モデルの方に入力してやってるっていう。
1:22:34	だからあくまでもここに記載されてる入力地震動は、
1:22:37	17 ページに昔記載されている入力地震動というのは、0.0EL0.0 の基礎した場での入力地震動を示していますっていう。
1:22:48	理解でいいですか。
1:22:51	中国電力の落合ですその通りの理解で問題ございません。以上です。
1:22:56	それ、規制庁の三浦ですけど。確かに詳細はまた
1:23:01	別途他の所でいいんですけど、
1:23:04	確かに入力倍率で見てるんであまりこの基準化したやつで、
1:23:09	実際の入力地震動のレベルってのはあまり気にならないんだけど、
1:23:14	ちょっと説明を加えたらどうですか、今言われたような。
1:23:18	入力地震動、表図に記載されてる入力地震動ってのはこれこれこういうもんですと今落合さんご説明なられたようなものを入れておいたらどうでしょうか。
1:23:29	実際の細かい数字はまた計算書の方でいいと思うんですが、
1:23:33	考え方っていうか、それをちゃんと説明しておいていただくと我々としては助かるんですけど。
1:23:40	中国電力の落合です承知いたしました。ちょっと少し簡単にはなりますけど、井口新藤側の基礎下での入力地震動だっということがわかるような記載を少し注記なりさせていただきたいと思います。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:57	規制庁の服部ですはいそれについてはちょっと、ちょっと今すぐに理解できなかったんですけどもお願いしたいと思います資料で確認させていただきます。で、
1:24:08	私が少し気になったのは先ほどあれから少しせ、いろいろと話があるように、
1:24:14	例えば、今回、廃棄物処理建物については、
1:24:21	Ss-Dのと機能、
1:24:23	設置率というのが、
1:24:26	ちょっと気を食う、曖昧なんですけど 98%ぐらいだった。
1:24:31	付着力を考慮すればですね。
1:24:34	というふうな記憶をしています。
1:24:36	そうする等、この 17 ページの左上のところを見ると、
1:24:41	520galぐらい。
1:24:44	なのかなあと。
1:24:46	逆算するとですね。
1:24:48	それを一番下 3 図の 3-4 の絵のところを持っていくと、ほぼほぼ、
1:24:54	付着力に差がないので、
1:24:58	付着力による、
1:25:01	誘発地震、誘発上下動に伴う加速度の 2 に対する影響はほとんどありませんというような理解をしよう。
1:25:11	としたときに、
1:25:13	実際に、
1:25:15	それにゆ、あと今回の Ss-D の入力地震動っていうのは、
1:25:20	幾つなんだろう、介護基盤表面では 820 ガルっていうことなので、
1:25:25	これで 820、20 ガルを見ると、話が全然変わってくるということなので、そういうふうに理解をしようとしたんですけども、
1:25:34	そうすると、実際この
1:25:37	Ss-D の入力地震動って、
1:25:41	520 ガルだとしたら、それはどこの、どういうふうに出て、どういうふうな値として出てるんだろう。
1:25:49	ということの疑問点から今のような、ちょっと確認をさせていただいたということなんですね。
1:25:55	だからそういう骨董なそういうふうな理解が
1:26:00	今の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:02	落合さんがこの資料の方に記載するという、入力地震動に関する簡易的な説明で、
1:26:08	わかるような感じになるんですかどうぞちょっとそこら辺、
1:26:12	確認したかったんですが、いかがでしょうかどうぞ。
1:26:39	中国電力の落合です。
1:26:42	先ほど大体おおよそは、羽鳥さんのご理解で、問題ございません設置位置というとSs-Nと多分95%ぐらいってということなので、
1:26:53	左上でいうと大体入力地震動としては、
1:26:59	500から600の間ぐらいってということになるかと思います。ただ、これ、今回のこの3次元モデルの適用性に関する影響検討に関しては、
1:27:11	あんた、このモデルとかも、専権考慮してしていませんし、ちょっと完全に耐震計算書って次長と経産省の方で使ってるモデルと、
1:27:22	その細かい条件まですべて合わせてるわけではありませんので、ちょっとなかなかそこら辺まですべて、これと地元経産省の値が一致してますよってところまでは書きにくいところも少しあるので、
1:27:37	あくまでも入力地震動っていうのは、
1:27:43	1次元波動論を使って、建物の基礎下で求めた入力地震動の値、
1:27:49	オオツカを、ここでこのグラフ上を横軸にとっているというような記載を少し追記させていただくぐらいでいかがかなと思っておりましたけどもいかがでしょうか。
1:28:01	規制庁のハツリですはい。第1弾は買ってきましたそうですね。
1:28:08	あくまでもこれは設計をしてるのではなくって、
1:28:12	地震応答解析モデルの考え方を、
1:28:17	検討するための一つの
1:28:20	影響検討というか表が評価とか、そういうことでの、
1:28:25	扱いだということで、
1:28:29	完全にその本本当の設計、
1:28:32	とのリンクはできないんだということは理解をしました。そういう意味では、
1:28:37	そうですね。
1:28:42	逆に、
1:28:44	どれぐらいの
1:28:47	設置率の観点からどれぐらいの
1:28:51	入力地震動が一
1:28:53	実際の設計に用いる入力地震動に相当する、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:58	他の大体の値というのを逆算するような形で理解した方が、
1:29:04	わかりやすいということ理解をしました。
1:29:09	なので中国電力、
1:29:13	の言ってることも重々わかりましたので、うん。私の確認は以上にしたい と思います。
1:29:21	よろしいでしょうかどうぞ。
1:29:27	はい。中国電力の落合ですそのご理解でいいと思います野瀬あまり正 確性が少し欠けるので理解としてはそういう理解していただくというこ とで問題ないかと思えます。以上です。
1:29:39	規制庁のハツリですはいわかりました。
1:29:41	他にあればお願いします。
1:29:45	よろしいでしょうか。
1:29:48	はい。
1:29:49	ではないようですので、中国電力側から追加で説明しておくことが、また 出てきたらお願いしますどうぞ。
1:30:01	中国電力の落合です。当社から特に説明ございません。
1:30:06	規制庁のハツリですはいわかりました。
1:30:08	本日のヒアリングでも、少し事実関係について、今後説明していただくこ ともあるかと思えますので、それは適切に対応していただきたいと思 いますがよろしいでしょうかどうぞ。
1:30:22	中国電力のオチアイザワ承知いたしました。以上です。
1:30:25	規制庁のハツリですはいわかりました。それでは確認することは以上 といたしますので、本日のヒアリングを終了いたします。どうもありが とございました。
1:30:35	はい、ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。